

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 医療法人啓信会

訓練の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	基礎コース ()	就職を想定する職業・職種
	<input checked="" type="checkbox"/>	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)	
訓練科名	介護サービス(実務者研修)科		施設介護員、訪問介護員、看護助手
募集期間(予定)	令和4年10月28日 ~ 令和4年11月24日		
選考日(予定)	令和4年11月29日		
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/>	面接	<input checked="" type="checkbox"/>
選考結果通知日	令和4年12月2日		
訓練期間	令和4年12月15日 ~ 令和5年6月13日 (6 か月)		(訓練日数 103 日)
訓練時間	9 時 30 分 ~ 16 時 55 分		訓練定員 24 名
訓練対象者の条件	特になし		
訓練推奨者	<input type="checkbox"/>	新規学校卒業者	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	被災者	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	ニート等の若者	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	外国人	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	障害者	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	その他 ()	<input type="checkbox"/>
訓練目標 (仕上がり像)	実務者研修修了を前提とし、訓練を通して介護・福祉職員としての職業倫理および社会一般的適性を理解の上、介護福祉関連の業務に従事することを目指す。また職場実習を経験することにより、介護現場の現状を把握・理解し、就業後スムーズに対応できる能力と就業継続の力を身に付ける。		
訓練修了後に取得できる資格	名称 (実務者研修課程) 認定機関 (医療法人啓信会)		<input type="checkbox"/>
	※規定カリキュラムを全て受講し、修了認定要件を満たした場合		<input type="checkbox"/>
	※実務者研修修了証の発行は、訓練修了後およそ1週間後となります		<input type="checkbox"/>

IT分野の訓練における基本奨励金の特別措置の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)

訓練概要	介護職として求められる専門的知識・技術を習得し、さらに企業実習により、実践的なコミュニケーション能力の向上を図ることができます。【職場見学等推進】				
訓練内容	科目	科目の内容			訓練時間
	人間と自立	生活支援の考え方 権利擁護、ノーマライゼーションの歴史、概念、課題			6時間
	社会の理解 I	介護保険制度の概要 介護報酬、介護サービスの種類と内容			6時間
	社会の理解 II	生活の定義 家族介護から社会介護へ、障害者総合支援法 介護実践に関する諸制度			30時間
	介護の基本 I	尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理			12時間
	介護の基本 II	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護における安全の確保とリスクマネジメント			24時間
	コミュニケーション技術	コミュニケーションの基本的理解、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション			24時間
	介護過程 I	介護過程の基礎知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ			24時間
	介護過程 II	介護過程の展開の実際、アセスメントとニーズの把握			30時間
	発達と老化の理解 I	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響			12時間
	発達と老化の理解 II	老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点			24時間
	認知症の理解 I	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴と支援の基本			12時間
	認知症の理解 II	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症の人や家族への支援の実際			24時間
	障害の理解 I	障害者福祉制度・施策の背景と動向、障害者理解の課題			12時間
	障害の理解 II	障害(児)者への支援の実際、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動			24時間
	こころとからだのしくみ I	高齢者に多い病気とからだのしくみ			24時間
	医療的ケア	高齢者および障害(児)者の「たんの吸引」概論、高齢者および障害(児)者の「経管栄養」概論			54時間
	安全衛生	施設・事業所の理解、福祉サービスの実践、介護職の安全衛生の理解			4時間
	実習振り返り	実習後の反省及び、自己評価			6時間
	福祉職員定着講習	セルフコントロール研修・チームワーク研修 組織活動・問題解決の思考法・課題形成 コミュニケーション・接遇、福祉サービスの実践 チームワークとリーダーシップ・能力開発			9時間
	就職支援	施設・事業所の理解、介護・福祉における求人活動指導・応募書類の書き方、面接指導・対策 ジョブカードの作成指導、自己PR・志望動機の考え方、雇用形態の把握、就職意欲の高揚			17時間
実技	生活支援技術 I	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本、環境整備、福祉用具活用等の視点			24時間
	生活支援技術 II	体位姿勢交換、移乗移動、衣類着脱の介護、寝具の整え方、入浴の介護、身体の清潔、排泄・尿失禁の介護 食事の介護、移動・歩行の介護、睡眠・夜間の介護、ターミナルケア			30時間
	介護過程 III	ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録、介護技術の評価			54時間
	こころとからだのしくみ II	人間の心理 人体の構造と機能、身じたく・食事・移動・移乗・清潔保持・排泄に関連した介護技術			60時間
	医療的ケア演習	喀痰吸引演習、経管栄養演習、救急蘇生法演習			12時間
企業実習	<input type="checkbox"/>	実施しない	<input checked="" type="checkbox"/>	実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	54時間
職場見学、職場体験、職業人講話					
訓練時間総合計	612時間	学科 378時間	実技 180時間	企業実習 54時間	職場見学等 0時間
受講者の負担する費用	教科書代	14,080円			合計 14,080円
	その他 ()				
	備考 (実習施設までの交通費が必要)				
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/>	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する		
		<input type="checkbox"/>	オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)		
		<input type="checkbox"/>	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)		
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	プロジェクター・ビデオ・DVDを活用した視覚的指導の実施			
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	テストによる理解度の確認、訓練終了後の福祉機器の開放			

- ※1 企業実習を予定している場合は、様式第10~12号を作成のうえ提出してください。
- ※2 様式第6号の「日別計画表」を添付してください。
- ※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。
- ※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。
- ※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。